

# 令和4年度 自己評価

学校法人寺西学園 交野幼稚園

## 1、本園の教育目標

『つよく たくしく ほがらかに』を園訓に、ひとりひとりの子どもの心身の発達をよく見極め、「適切なしつけと体力づくり」に重点をおき、心の通った温かい教育を心がけます。ご家庭と園がしっかり手を携えながら、子どもたちの成長を共に支え、共に喜びたいと考えます。

## 2、今年度の具体的な目標や計画

- ・「新しい生活様式」への幼稚園としての対応
- ・体力、運動能力の向上への取り組み

## 3、評価項目の達成及び取り組み状況

| 評価項目                 | 取組状況  |
|----------------------|---|
| 「新しい生活様式」への幼稚園としての対応 | <ul style="list-style-type: none"><li>・引き続き、基本的な感染防止対策に努め、従来の教育内容とのバランスを図りながら、「新しい生活様式」に対応した教育を実施したが、同時にコロナ禍の出口を見据え、内容の検討を行いながら、取りやめていた教育活動を適切に進めた。</li><li>・『健康観察カード』体温、症状の有無による園児の健康観察</li><li>・ステージに応じた行事等の見直し、密な状況を作らない工夫</li><li>・適宜適切な手洗い、手指消毒、園児職員のマスク着用</li><li>・保育室でのアクリル板の活用、CO2センサーによる換気管理</li><li>・園施設設備、教材、おもちゃ等の清掃消毒の徹底</li><li>・週5日、専門業者によるトイレ、手洗い場の清掃消毒</li><li>・職員の体調把握、出退管理</li></ul> |
| 体力、運動能力向上への取り組み      | <ul style="list-style-type: none"><li>・長引くコロナ禍の影響により、園児の運動不足、運動能力の低下が懸念されることから、園庭での朝礼後、体力づくりの一環としてマラソンを始めた。</li><li>・専門講師による「体育あそび」では特に体幹を鍛える運動を多く取り入れ、楽しみながら体幹づくりに取り組んだ。</li><li>・園庭での自由遊びの時間には、教員も一緒にリレーや、追いかっこをしたりなど、今まで以上に園児とかかわる時間を増やした。</li></ul>   |

#### 4、評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・令和4年度における新型コロナウイルス感染状況は、年度当初の「イエローステージ」4月末の「レッドステージ」、7月中旬「グリーン」になったものの、9月中旬には再び「レッドステージ」と目まぐるしい状況変化への対応を余儀なくされた一年であった。そのような中で、基本的な感染対策を行うことはもとより、「健康観察カード」による園児の健康管理、保護者との密な連携、職員自身の体調管理に一丸となって取り組み、昨年度まで取りやめていた行事や保育を概ね実施することができた。このことは何より、園児の心の安定と成長につながったものと評価できる。
- ・コロナ禍での幼児の体力の低下はマスコミ等の報道にもあるが、実際の園児の様子から懸念することもあり、朝礼後にマラソンを行うことになった。園庭で園児と教員が共にイキイキと楽しく、にぎやかに遊ぶ光景から、本来の教育を取り戻していることに安堵している。また、講師による「体育あそび」の鉄棒を自由遊び時間に教員の見守りの下、意欲的に取り組む姿も多く見られ、園児たちの自主性の芽生えも感じる。

#### 5、今後取り組むべき課題

| 課題         | 具体的な取り組み方法  |
|------------|---|
| 子育て支援の充実   | 安心・安全に遊べる幼稚園の園庭を、地域に広く開放することは、子育て支援のみならず、幼稚園を知ってもらえるよい機会でもあると捉え、実施回数を増やしたりするなど、積極的に取り組んでいきたい。               |
| 「体育あそび」の活用 | 幼児期は生涯にわたって心身ともに健康的に生きるための運動習慣の基礎づくりの時期とされる。朝礼後のランニングを継続、「体育あそび」でダンス指導を開始するなど、楽しみながらの体力づくり、体幹づくりに取り組んでいきたい。 |

#### 6、学校関係者の評価

教育内容については特に指摘すべき事柄はなく、教員はそれぞれに教育の質を高めるべく努力しており、保護者との信頼関係も極めて良好であるとの評価をいただいたが、同時に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の2類から5類への移行が決定されたことにより、基本的感染対策を行いながら、“今まで通りの保育”に戻っていくことになるかと思うが、コロナ禍において行った“園児にとってよりよい保育”を継続することもお願いしたい。また園児数減少について大変懸念している。少子化の流れは明らかであり、制度のことも含め、今後の検討課題であるとの進言があった。